

- 小瀬川水系は戦後相次ぐ水害に見舞われたことから、昭和39年に小瀬川ダムが洪水防御を主目的に建設されましたが、その後も昭和44年7月洪水、昭和45年8月洪水、昭和49年9月洪水、昭和51年9月洪水等により被害が発生しています。
- 一方、小瀬川に水源を依存するかんがい用水及び都市用水はしばしば水不足をきたし、弥栄ダム建設以前ではおおむね3年に1回の頻度で渇水調整や大幅な節水が実施されてきました。
- これら治水・利水面での不安を解消し、小瀬川流域周辺の産業の発展及び地域開発の推進を図るため、平成3年3月に洪水調節、都市用水(水道用水・工業用水)の補給、流水の正常な機能の維持、発電を目的とした弥栄ダムが完成しました。

ダムの諸元		
堤 高		120.0m
堤 長	長	540.0m
集水面積		301.0km ²
湛水面積		3.6km ²
総貯水容量		112,000,000m ³
有効貯水容量		106,000,000m ³
堆砂容量		6,000,000m ³

目 的		
洪水調節	計画高水流量	2,600m ³ /s
	調節量	1,700m ³ /s
都市用水	上水道	110,500m ³ /日
	工業用水道	70,500m ³ /日
発 電	最大出力	7,000KW
	年間発生電力量	21,574MWh

【貯水池容量配分図】

